

製鐵所單一勞動組合結成事情

14

製鐵所單一勞動組合結成事情

一、概要

製鐵官民合同法案が通過し従つて全製鐵従業員を擧げての合同反対運動も一段落を告ぐるに至つたので、次に起つて來た問題は既得勞動條件の確保を目的とする全従業員の力強き團結運動である。

然るに従業製鐵所内に於ける二大労働組合たる鐵聯並に同志會は、表面は兎も角最近其の實際勢力は漸次衰退の一途を辿りつつありて、既に鐵聯の一部は日本主義労働運動に轉向分裂し、且つ鐵聯外にも之に共鳴する者漸次増加の傾向にあり兩組合とも其の勢力挽回策に腐心してゐたのである。

遇々今回の製鐵官民合同反対運動に當り、鐵聯、同志會を中心に全従業員を動員して、製鐵官民合同反対同盟會を組織し